洛和会ヘルスケアシステム

本部
洛和会ヘルスケアシステム 本部
〒607-8064
京都市山科区音羽八ノ坪51-4
TEL 075(581)1763(代)

医療法人
医療法人社団 洛和会
〒604-8405
京都市中京区西ノ京車坂町9

社会福祉法人
社会福祉法人 洛和福祉会
〒612-8006
京都市伏見区桃山町大島38-528

学校法人
学校法人 洛和学園
〒607-8064
京都市山科区音羽八ノ坪53-1

医療

5つの病院と5つの提携クリニックで、
救命救急、急性期、慢性期、在宅、
そして予防まで幅広く対応しています。

病院

地域に根差した急性期病院
洛和会丸太町病院
TEL 075(801)0351㈹　予約▶0120(489)244
医療関係者向け▶☎075(801)0372(地域連携課)

急性期医療とがん治療を中心とした総合病院
洛和会音羽病院(救命救急センター)
TEL 075(593)4111㈹　予約▶0120(489)300
医療関係者向け▶0120(607)489(地域連携課)

高度なシャント手術と透析治療を中心とする腎疾患総合病院
洛和会音羽記念病院
TEL 075(594)8010㈹
医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

地域包括ケアを支えるリハビリテーション病院
洛和会音羽リハビリテーション病院
TEL 075(581)6221㈹
医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

透析機能を強化し地域の医療を支える病院
洛和会東寺南病院
TEL 075(672)7500㈹
医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

クリニック

矢野医院
二条駅前クリニック
丸太町リハビリテーションクリニック
西洞院仏光寺クリニック
淀みづクリニック

洛和メディカルスポーツ京都丸太町
(医療法第42条施設)

介護

在宅から施設サービスまで、
当会の医療や保育事業とも連携した
質の高いサービスを展開しています。

介護事業部

在宅サービス

利用者さんが暮らし慣れた地域で、自立した
質の高い生活を送れるよう支援します。

洛和会医療介護サービスセンター
丸太町病院　北大路店　四条鉾町店
音羽病院　丸太町店　西京桂店
音羽記念病院　三条会店　音羽病院前店
音羽リハビリテーション病院　右京山ノ内店　醍醐駅前店
東寺南病院　右京常盤店　淀店
北野白梅町店　東大路店　大津店

京都市地域包括支援センター(京都市委託事業)
高齢サポート・朱雀 京都市朱雀地域包括支援センター
高齢サポート・音羽 京都市音羽地域包括支援センター

地域包括支援センター(文京区委託事業)
高齢者あんしん相談センター大塚/大塚分室

京都市地域介護予防推進事業(京都市委託事業)
京都市中京区地域介護予防推進センター

老人介護支援事業所
老人介護支援センター洛和ヴィラ桃山

居宅介護支援事業所
修学院　醍醐駅前　坂本
北花山　洛和ヴィラ天王山　洛和ヴィラ南麻布
山科　宇治琵琶　大塚介護保険サービスセンター
音羽　大津
洛和ヴィラ桃山　石山寺

洛和会訪問看護ステーション
北大路　四条鉾町　桃山　大津
壬生　西京桂　醍醐駅前　石山寺
右京山ノ内　山科　天王山　坂本
東大路　音羽　東向日

洛和ヘルパーステーション
丸太町　音羽　醍醐駅前　坂本
山科　桃山　石山寺

訪問リハビリテーション
洛和会丸太町病院
洛和会音羽リハビリテーション病院
洛和ヴィラウラノス
洛和ヴィラサラサ

洛和デイセンター
〈通所介護・介護予防通所介護〉
北野白梅町　四条鉾町　ウラノス
西ノ京　音羽　宇治琵琶
右京山ノ内　音羽のさと　南麻布
百万遍　リハビリテーション音羽　文京大塚高齢者在宅サービスセンター
修学院　桃山

〈通所リハビリテーション・
介護予防通所リハビリテーション〉
イリオス(短時間型通所リハビリテーション)
サラサ(通所リハビリテーション・短時間型通所リハビリテーション)

福祉用具貸与・販売/住宅改修など
ウエルネット

地域密着型サービス

住み慣れた地域やご自宅で、
心身の状態などに応じた"第2の家"のような
あたたかいサービスを提供します。

洛和グループホーム
二条城北　四条鉾町　醍醐春日野　大津
西ノ京　桂　伏見竹田　大津若葉台
壬生　久世　醍醐寺　石山寺
太秦　桂川　亀岡千代川　坂本
右京山ノ内　北花山　大山崎　守山大門
右京常盤　勧修Ⅱ番館　天王山　瀬田
花園　山科小山　宇治琵琶
西院　山科鏡山　京田辺
百万遍　山科西野　八幡橋本

洛和看護小規模多機能サービス
壬生　音羽

洛和小規模多機能サービス
花園　山科西野
西院　伏見竹田

施設サービス

日常生活のお世話から介護まで
必要に応じた施設で、一人一人に合った
サポートを行います。

介護医療院
洛和ヴィラよつば

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
洛和ヴィラ桃山　洛和ヴィラ南麻布
洛和ヴィラ大山崎　洛和ヴィラ文京春日

介護老人保健施設
洛和ヴィライリオス　洛和ヴィラウラノス
洛和ヴィラアエル　洛和ヴィラサラサ

障害者支援施設
洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
洛和ヴィラ天王山　文京大塚みどりの郷

高齢者向け住宅

ケアの専門家が在駐し、高齢者の方が安心して
生活できる賃貸型住宅サービスです。

サービス付き高齢者向け住宅
洛和ホームライフ北野白梅町
洛和ホームライフ音羽

介護付有料老人ホーム[特定施設]
洛和ホームライフ御所北
洛和ホームライフ室町六角
洛和ホームライフみささぎ
洛和ホームライフ四ノ宮
洛和ホームライフ山科東野

保育

子どもたちの健やかな成長を導き、
保護者が安心して働くことができる
環境をサポートしています。

子ども未来事業部

洛和東桂坂保育園(認可保育園)
洛和桂小規模保育園(小規模保育事業)
洛和桂川小規模保育園(小規模保育事業)
洛和大塚みどり保育園(小規模保育事業)
守山市立吉身保育園(指定管理者)
守山市立吉身保育園 分園(指定管理者)
洛和みずのさと保育園(認可保育園)
京都市音羽児童館(指定管理者)
京都市新道児童館(指定管理者)
京都市大塚児童館(指定管理者)
京都市花山児童館(指定管理者)
京都市深草児童館(指定管理者)
洛和山科小山児童園 てくてく親子教室
洛和御所南学童クラブ
洛和若草保育園
[洛和会音羽病院 院内保育室・事業所内保育事業]
洛和会音羽病院 病児保育室 よつば
洛和イリオス保育園(企業主導型保育事業)

健康

充実の医療ネットワークと
多様な健診メニューで疾病予防に貢献します。
企業出張健診や特定保健指導も行っています。

健診・人間ドック

洛和会京都健診センター
[洛和会音羽病院 健診センター・洛和会東寺南病院 健診センター]

教育

洛和会京都厚生学校
洛和会介護教育センター

研究

洛和会京都医療介護研究所
洛和会京都音楽療法研究センター
洛和会京都医学教育センター
洛和会学術支援センター

関連事業部門

ウエルネット(本社・京都西支店・大津支店)
障がい者就労支援事業所 らくわ
洛和会資材センター
洛和会搬送部門【トランスポート】
・救急患者搬送サービス
・介護タクシー
洛和会情報システム部門
洛和会施設管理部門
洛和会会計・給与部門
洛和会企画広報部門

各施設のマップ▶

2022年8月現在

地域のために 地域とともに

RAKUWA

らくわ
Vol.136
2022年8月号

巻頭特集
当会初！介護医療院
洛和ヴィラよつば開設

特集
チーム医療でも力を発揮！
管理栄養士の活躍

夢、そして誇り。この街で…
洛和会ヘルスケアシステム®

公式
LINEアカウント

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
洛和会ヘルスケアシステムは
持続可能な開発目標(SDGs)
を支援しています。

2022.07.01　NEW OPEN

当会初！

介護医療院 洛和ヴィラよつば

2022年7月1日開設

このたび、洛和会ヘルスケアシステムで初となる介護医療院を他法人から事業継承し、開設しました。要介護状態にあり、なおかつ医療的なケアが長期的に必要な高齢者が自立した日常生活を送れるよう支援します。

介護医療院とは?

介護医療院は、2018年に創設された介護保険施設です。介護職やリハビリ職に加えて、医師、看護師が常駐しているため、医療的なケアが必要な高齢者が、生活の場として長期的に療養できる施設です。

医療的管理（看取り ターミナルケア）＋生活の場

【施設概要】

- 介護医療院I型 短期入所
- 定員134人
- 看護 6:1　介護4:1
- 対象 要介護1~5

経管栄養など医療的ケアにも対応

必要に応じて食事をサポート

日々の生活をお手伝い

温かく家庭的な環境で過ごせるように

ユニフォームを一新

介護事業部では、ユニフォームを一新することが決定しました。洛和ヴィラよつばは、他の事業所に先駆け、新ユニフォームでケアにあたります。ポロシャツは全10色、ズボンは2色とカラーバリエーションが豊富で、19通りの組み合わせが可能です。同じデザインで統一感はありつつ、異なるカラーを着用することで、家庭的な雰囲気を生み出します。

ごあいさつ

最高の介護医療院を目指して

洛和ヴィラよつば 兼
淀みづクリニック　院長
髙橋（たかはし） 滋（しげる）

このたび、介護医療院　洛和ヴィラよつばの院長に着任した髙橋 滋です。

私は40年以上にわたり外科医としてがん治療に携わってきましたが、最近は認知症高齢者の診療や看取りもさせていただくようになり、人生の最期を見守ることの尊さを学んでまいりました。

洛和ヴィラよつばは、当会に新たに加わった介護医療院で、医療が住まいと生活を下支えする全く新しい施設であり、急変時や24時間の看取りにも対応いたします。その中で入居者の方々に最期まで尊厳を持って生活していただくことが求められています。このための基本は医療も介護も変わりません。安全に気を配り、意思をしっかり共有し（ACP: Advance Care Planning、SDM:Shared Decision Making）、寄り添うケアや必要な医療を提供することです。

どこまでもゴールは見えないかもしれませんが、優しさを忘れず、最高の介護医療院を作るべくスタッフと共に歩んでいきたいと思います。

挑戦し続ける姿勢を忘れず

洛和ヴィラよつば　次長
田中（たなか） 香代子（かよこ）

介護医療院　洛和ヴィラよつばの看護責任者として着任した田中 香代子です。松ケ崎記念病院介護医療院を経て、洛和会ヘルスケアシステムの一員となりました。

介護医療院は、要介護状態で医療的なケアが必要な高齢者が、長期に渡って療養する介護保険施設です。療養生活を送りながら、お一人お一人の状態に応じ、自立した生活を支えるため、介護老人保健施設や特別養護老人ホームよりも多くの医療職が働いています。高齢になり生活環境を変えなくてはならなくなった方、体を自由に動かせず不自由に感じておられる方など、利用者さんの個性を尊重し、これまでの生活にも目を向けながら、その人らしく、健やかに楽しく、安心安楽にお過ごしいただくために、介護事業部の掲げる「自分の親や自分が利用したい事業所になる」というスローガンに沿って、職員一同力を合わせ、今まで以上に信頼される施設になるよう、笑顔と感謝、挑戦し続ける姿勢を忘れず、努めてまいります。

6施設同時開設

詳細はこちら

お問い合わせ

洛和ヴィラよつば（介護医療院）
淀みづクリニック
〒613-0916 京都市伏見区淀美豆町1077　TEL.075（632）6116（代）

洛和ヴィラウラノス（介護老人保健施設）
洛和デイセンターウラノス
洛和ヴィラウラノス 訪問リハビリテーション
〒613-0916 京都市伏見区淀美豆町1133　TEL.075（633）6010（代）

洛和会医療介護サービスセンター淀店
〒613-0916 京都市伏見区淀美豆町1024-1　TEL.075（633）6015

介護事業部 取り組み 1

洛和会ヘルスケアシステム
介護事業部　看護部創設

感染対策と看護スキルの向上を目指して

地域包括ケアシステムの多職種連携において、今後ますます重要となる看護師の役割。洛和会ヘルスケアシステム 介護事業部では、本年4月から新たに看護部を立ち上げ、感染対策の強化と在宅生活を支える訪問看護師や介護施設の看護師のスキル向上に取り組んでいます。

介護事業部
看護部 看護部長　**村田（むらた） つる代（よ）**

看護部の役割

介護事業部 看護部は、洛和会ヘルスケアシステムで働く看護師をとりまとめる本部 総看護部長を中心に、当会の5つの病院の看護部と一体となり、人材の育成、キャリアパスの整備、看護の質の向上・標準化を進めています。また、医療のプロフェッショナルとして、医療・介護安全、感染対策などを中心になって管理する役割も担っています。

洛和会ヘルスケアシステム本部 **総看護部長**

- NEW 介護事業部 看護部
  - 在宅サービス
    - 訪問看護
    - デイサービス
    - 小規模多機能サービス
  - 施設サービス
    - 介護医療院
    - 介護老人福祉施設
    - 特定施設　など
- 洛和会丸太町病院 看護部
- 洛和会音羽病院 看護部
- 洛和会音羽記念病院 看護部
- 洛和会音羽リハビリテーション病院 看護部
- 洛和会東寺南病院 看護部

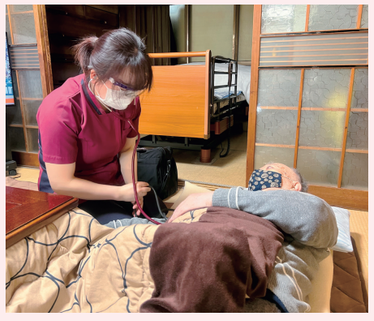
1 感染症への対応とマニュアルの再整備

これまでも感染症発生時のマニュアルはありましたが、複雑化していたため見直しを実施。フェーズごとの対応の基本を示すことで、どの事業所でもサービスの特性を踏まえた対応策の標準化ができるよう取り組んでいます。また、感染の疑いが生じた際は、看護部の職員が施設に出向いてPCR検査を行い、施設内のゾーニング、スタッフへの指導を行っています。今後は、事業所のラウンドを定期的に行い、予防の段階での関わりを強化します。

2 人材の育成と有効活用

病院だけでなく、介護施設や在宅でも一定の質を担保した看護を提供できるように、教育体制を整備しています。また、病院で働く看護師がセカンドキャリアとして、訪問看護の現場や介護施設で働くという選択ができるなど、組織全体で看護師が活躍できるキャリアパスの構築および、職員が働き続けられる環境作りに貢献したいと思っています。

利用者さんの状態に合わせた看護提供を



退院後の介護施設や在宅での生活において、利用者さんの状態に合わせた医療的ケアが提供できるよう、特定の医療行為が実施できる「特定看護師」や高いレベルの看護を実践する「認定看護師」の育成を進め、職員のキャリア開発とチャレンジを支援します。また、当会のスケールメリットを生かして病院と介護事業部の事例共有や支援体制を強化し、地域の利用者さんの希望に沿った看護の提供に務めてまいります。

介護事業部 取り組み 2

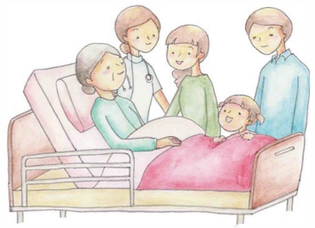
個々の自己研鑽を応援

介護事業部では、より良いケアを目指して介護職員個々の自己研鑽の場を設けています。

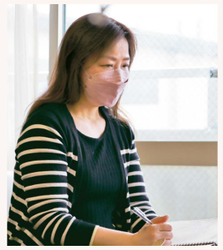
増加する看取り介護に対応

近年、病院で亡くなる方が減少する一方で、グループホームや老人ホームなど、介護施設で最期を迎える方が増えています。そのため、介護職員もこれまで以上に看取りについて正しく理解し、入居者さんが最期まで安心して過ごせるようケアに当たることが必要になっています。

当会のグループホームには定期的に地域の病院やクリニックの医師が往診してくださいます。施設内で看取りを行う際は往診医の協力が必須なので、日ごろから密に連携をとっています。介護施設での看取りが増えるにつれ、なかには「入居者さんやご家族が納得のいく最期を迎えられたのか」と思い悩む職員もいます。そこで、往診医の先生に看取りの勉強会を実施していただき、声掛けの方法や痛みを訴えられる方への対処法を教えていただきました。



勉強会に参加した職員のコメント



今までに看取りをさせていただき、お別れをした後に「もっと何かできたのでは?」という思いがありました。勉強会での先生のお話の中で、「その人が生きてきた人生なりの別れでよい。その人の生きてきた歩みと捉え受け入れる」という言葉がとても印象的でした。

その時、その瞬間を大切に、寄り添っていく事が大事なのだと感じました。この場をお借りし、先生へ。貴重なお話しを聞かせていただき、ありがとうございました。

News

介護事業部のホームページが近日リニューアル

介護サービスについて欲しい情報がすぐに見つかるよう、これまで以上に見やすいサイトになります! 介護に関する相談から各サービスの情報、さらに各々の事業所の雰囲気まであらゆる情報を網羅する予定です。ぜひご期待ください。

画像はイメージです

TOP MESSAGE トップメッセージ vol.2

イマジネーション

洛和会ヘルスケアシステム
理事長 矢野 裕典（やの ゆうすけ）

2022年4月末、長男が誕生しました。

理事長に就任して間もなかったのですが、バックアップをいただき育児休暇を取ることができました。2週間という短期間ながら、大変有意義な時間となりました。(ワンオペ育児がいかに大変か!)

2022年10月からは新たに国の制度「産後パパ育休制度」が始まります。国としても男性の育児休暇取得を促進する狙いがあるのでしょう。裏を返せばまだまだ男性の育児休暇取得が進んでいないということだと思います。例えば私の親世代だと、男性が育児休暇を取ること自体理解が難しいように感じます。職場内でもさまざまな考えがあることでしょう。いずれにせよ、皆で協力し合わないとこの国の未来は明るくありません。

私は「まず自分でやってみる」というポリシーがあります。インターネットに情報が溢れている時代だからこそ、自分が体験して感じたことが大切になってきます。ただ、全てのことを自身が直接体験できるわけではありません。一番大切なことは、当事者の気持ちになってみること、想像してみることではないでしょうか?

世の中にはさまざまな問題がありますが、一見、自分とは関係ないと思っていることも多いでしょう。しかしながら、誰しもが当事者になり得ます。病気、介護、障がい、子育て、貧困、性自認・性的指向への対応などが、自分や家族や職場である日突然明らかになるのです。そのときになってから初めて考えるのではなく、身の回りや社会で起こっている問題や課題を、自分にも関係あることとして捉えられる人間になりたいものです。

洛和会ヘルスケアシステムの職員には、自分とは異なる他者の気持ちをおもんばかることができる優しい人であってほしいと願います。

その上で、社会の課題を自分たちの課題として解決することに積極的に挑戦する組織を目指していきましょう。

当会理事長 矢野裕典が
インスタグラムを開設しました

アカウント名 rakuwakai_president

仕事のことはもちろん、プライベートなところまで幅広く発信していく予定です。

RAKUWAKAI_PRESIDENT

今月のピックアップ動画

「#11 イクメンをめざして!」

育児休暇を取得した当会の男性職員とのリアル“育休対談”です。

チーム医療でも力を発揮！

特集 管理栄養士の活躍

当会の施設では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ職、歯科衛生士などの多職種で構成された**栄養サポートチーム**（NST／Nutrition Support Team）の発足や入院病棟への**管理栄養士の配置**など、最適な栄養管理の提供に努めています。その中でも今回は管理栄養士にクローズアップしてご紹介します。

洛和ヴィラアエル（介護老人保健施設）＋洛和会音羽記念病院

管理栄養士と言語聴覚士が協働でサポート

多職種連携だからこそできること

透析患者さんが多く入所されている洛和ヴィラアエルでは2019年から、洛和会音羽記念病院の言語聴覚士が定期的に利用者さんの嚥下（えんげ）機能の評価・訓練を行い、その評価をもとに食事形態が適切かを管理栄養士が確認する、**ミールラウンドを月2回実施**しています。言語聴覚士の評価を踏まえ、管理栄養士がケアの見直しを看護師や介護職に提案・相談するなど、多職種で連携し、多角的な視点から栄養管理を行っています。

できる限り食の楽しみを

透析患者さんは、塩分量など食事に制限が必要な方が多く、嚥下機能が低下するとさらに制限を加えることになり、「食べる楽しみ」から遠ざかってしまいがちです。誤嚥（ごえん）があったからペースト状のおかずに変更というのは簡単ですが、能力以下の食事を食べ続けると、本来食べられていたものを食べる能力も低下してしまうため、**リスクの許容度を正確に判断し、より希望に近い食事を取っていただけるよう**努めています。例えば「ケーキが食べたい」という希望に対して、嚥下能力的にスポンジが難しい場合はムースを使って提供するなど、難しい要望でも断るのではなく、代わりのものを提案し、「食べたい」という思いに少しでも応えられるよう工夫しています。

洛和ヴィラアエル 栄養科
副係長 松浦（まつうら） 友香（ゆか）

洛和会音羽記念病院
リハビリテーション部
亀井（かめい） 福子（ふくこ） 言語聴覚士

NSTの活動における言語聴覚士の役割

食事には窒息や誤嚥というリスクがいつでも潜んでいます。「食事が毎日の楽しみ」という利用者さんもたくさんおられます。言語聴覚士が評価した問題点や利用者さんの食事に対する希望をもとに、管理栄養士など他職種スタッフとコミュニケーションを図りながら、安全性に配慮した食事を選択しています。食事の楽しみとリスクのバランスを取りながら、安全で1日の楽しみとなるような食事の調整を目指しています。

洛和会丸太町病院

病棟スタッフの一員としての誇りと喜び

退院後の生活も確立できるように

洛和会丸太町病院の栄養管理室では、2018年から転院される嚥下障害のある患者さん、2019年からは退院して**施設に戻られる患者さんに栄養情報提供書の発行**をしています。実際にどのように利用されているか介護事業部との会議で確認し、様式の改善も重ねてきました。どんな状態の食事をされていたかを的確に引き継ぐことで、退院後のQOL（生活の質）向上を目指しています。

洛和会丸太町病院 栄養管理室
主席係長 榊（さかき） 容子（やすこ）

業務の幅が広がっています

2018年から管理栄養士の病棟担当制が導入され、定期的なラウンドを実施。患者さんと顔の見える関係を築き、「榊さん」と呼ばれると、改めて病棟の一員だと実感することができるんです。看護師や言語聴覚士と一緒に**食事中の様子チェック、栄養指導や食事の変更提案、ご家族への嚥下食の作り方の説明**（実際に目の前でやってみることも！）など、仕事内容の幅が広がり、やりたいことをやらせてもらっています（笑）。業務効率化のため、病棟用のカートも購入してもらいました！相談員の方から声を掛けてもらうなど、医師や看護師だけでなく、さまざまな職種の職員、そしてたくさんの患者さんから必要としていただけることにやりがいを感じますね。これからも日々自己研鑽（けんさん）しながら、いろんなことや人に関わっていきたいです。

毎月発行している地域連携ニュースにも栄養管理室から情報提供しています

洛和会音羽病院

栄養を取り続けることが大切

ICU/CCU病床への管理栄養士配置

手厚い看護を必要とされる重症の患者さんが入院されるICU（特定集中治療室）/CCU（冠疾患集中治療室）では、多職種スタッフと連携し、早期から栄養管理に取り組んでいます。患者さんの栄養状態の改善は、治療を円滑に進め、**在室日数の短縮や合併症発生の抑制**にもつながります。

在宅復帰を目指す患者さんの退院後を見据えた、きめ細やかな栄養管理を行いたいと考えています。

洛和会音羽病院 栄養管理室
副係長 馬場崎（ばばさき） 仁美（ひとみ）
（ICU/CCU 担当）

SCU病床への管理栄養士配置

脳卒中の患者さんが入院するSCU（脳卒中集中治療室）では嚥下機能が落ちている方が多く、管理栄養士が患者さんの状態や、思いに寄り添って多職種スタッフと相談しながら、食事形態などを調整しています。また、早期から栄養管理を行うことでリハビリが促進でき、結果的に**サルコペニア予防にもつながる**と考えられています。

洛和会音羽病院 栄養管理室
主席係長 石田（いしだ） のりこ
（SCU 担当）

洛和会 ヘルスケアシステムの「連携」

医療・介護の事業を展開する洛和会ヘルスケアシステムでは近年、患者さん、利用者さんのための連携を進めています。今回は**退院後の介護サービス事業所やかかりつけ医との連携、認知症に関わる病院職員と介護職員による「連携」**についてご紹介します。

退院後の患者さんのため、“質の高い”情報提供を

当院の入退院支援相談室では、5人の社会福祉士が主に入院中の患者さんの退院支援を行っています。患者さんの状態や治療状況をご家族にお伝えし、サービスの検討提案をするのですが、コロナ禍の面会制限もある現在、より的確な情報提供が必要とされます。

そして、ご自宅に帰られる方であればケアマネジャーや介護のサービス事業所、かかりつけ医の先生と連携を取ります。継続してリハビリや医療行為が必要で転院される場合は、療養型の病院と調整。患者さんによって回復状況が違うので、状態をしっかりと把握するため、カルテだけでは分からないことは医師や看護師をはじめとする多種職のスタッフと連携し、解決していきます。

ときには地域連携課に同行して転院先となる病院へ訪問することも。日ごろの主なやり取りは電話やFAXですが、一度でも顔を合わせていると、ぐっと距離が縮まる気がします。“顔の見える関係づくり”へのご協力は今後もできるだけお願いしたいと思っています。

当院は急性期病院のため、患者さんの回復過程を最後まで見届けることができません。求められている情報を、正確に、丁寧に提供することで、スムーズな連携ひいては患者さんの今後にプラスとなるよう取り組んでまいります。

洛和会丸太町病院
入退院支援相談室
副係長 中野（なかの） 匡徳（まさのり）
社会福祉士／精神保健福祉士

お問い合わせ

洛和会丸太町病院
TEL 075(801)0351(代)

増加する認知症疾患への 知識・経験を共有

洛和会音羽リハビリテーション病院と介護事業部では認知症ケア研究会を毎月行い、認知症の患者さん、利用者さんに対する治療やケアに重点を置いた議論を交わしています。

医療の目線 ご自宅での生活を見る

洛和会音羽
リハビリテーション病院
薬剤部
楠戸（くすど） 沙也子（さやこ）
薬剤師

当院では専門家が集まっている強みを生かして、患者さんにとって最適と思われる治療を行っています。現在は退院後のご自宅での生活を見据えた治療が注目されており、介護職員からの発表はとても貴重です。生活に根差したBPSD（認知症の行動・心理症状）などへの対応について学んだり、意見交換を行ったりするなど、身体的・心理的側面についても理解を深めています。

介護の目線 医療からのヒント+介護現場を知ってもらう

介護事業部
（看護）小規模多機能課
課長 永井（ながい） 試行（しこう）
介護福祉士／介護支援専門員

施設や事業所での認知症ケアの困りごとを検討する場として研究会を活用しています。介護では自分たちのケアの力で「なんとか症状を改善しなければ」と一生懸命な人が多いのですが、医療側の目線からもケアのヒントをもらうことで、“相談できる場がある”という安心感につながっています。また、医療側に介護現場を知ってもらったり、顔の見える関係を作ったりすることで、さらに連携をとりやすくなっています。

お問い合わせ

洛和会音羽 リハビリテーション病院
TEL 075(581)6221(代)

介護事業部
TEL 075(353)5802(代)

認知症の初期から 継続的な支援を

洛和会音羽リハビリテーション病院では京都市の委託事業として、山科区の認知症初期集中支援事業の窓口を担っています。認知症の疑いがある方やそのご家族からご相談を受け、早期の段階で関わりを持ち、支援しています。ケースによって、介護の相談窓口と連携し、その方に合った介護施設を提案してもらいます。病院側の窓口と介護の相談窓口が協働し、患者さんの情報を引き継ぐことで、ご家族からも安心してお任せいただいています。

洛和会音羽
リハビリテーション病院
医療介護サービスセンター
地域連携課
（京都市山科区
認知症初期集中支援チーム）
主席係長 木下（きのした） 茂（しげる）
精神保健福祉士

洛和会
介護の相談窓口
課長 相宗（あいそう） 聖子（せいこ）
社会福祉士

お問い合わせ

京都市山科区 認知症初期集中支援チーム
（洛和会音羽リハビリテーション病院内）
TEL 075(582)5535

洛和会 介護の相談窓口
0120(045)507

山あり谷あり らくわ道

当会には、今年も4月に271人の新入職員が加わりました。
5カ月が過ぎ、これから“仕事の壁”を感じることがあるかもしれません。
今回は先輩職員にこれまでの失敗やそれを乗り越えた方法、
やりがいなどを聞きました。

15年目 看護師

きっかけ

高校3年生の時、祖父の入院先の看護師さんが、親身にケアしてくださった姿に心を動かされ、看護師を目指すことに決めました。その病院が洛和会音羽病院だったご縁もあり、当会へ入職しました。

不安と葛藤

看護師になって2～3年経ち、業務に少し慣れてくると、「他の先輩だったらもっと良いケアができたのでは？」と思い悩むことがありました。後輩に教える立場になったり、長期入院の患者さんが亡くなられてつらい思いをしたり、いろんなことが押し寄せ、「看護師としてやっていけるのか」と不安になるときが多々ありました。

行き詰まった時は…

私の場合は、親身になって話を聞いてくれる先輩に恵まれ、共感してもらえたことで、自分の行動を認めることができ、少しずつ乗り越えることができました。自分だけでは思いつかなかった視点で助言いただき、「こんな勉強をすれば解決できるかもしれない」など、前向きに考えて進むことができました。

看護師を続けてきてよかった

患者さんやご家族さんの気持ちに“寄り添えた”と思える瞬間、笑顔が見られた時はいつもうれしいです。当初は自分の仕事のことで精いっぱいでしたが、続けることで知識もスキルも蓄積されていき、成長を実感できるように。また、他職種のスタッフと、困ったことがあればすぐ相談できる関係を築けていることも心強いです。

1年目の皆さんへ Message

まずはやってみよう！

興味のあることや得意なことだけでなく、経験のない役割や自分が思いもしなかった環境に置かれることもあると思いますが、経験することで、苦手から得意に変わったり、意外な楽しさを見出せたりすることもあります。初めから「完璧でないと」と思わず、まずは取り組んでみましょう。私もチャレンジし続けます！

洛和会東寺南病院
看護部1病棟
主任 髙田（たかだ） 裕子（ゆうこ）

2008年 当会へ入職 洛和会音羽記念病院 看護部に配属
2018年 洛和会東寺南病院 看護部へ異動
2019年 同 主任に就任

9年目 介護士

無我夢中で学んだ日々

将来、親の介護を考える時など、自分自身にも役立つと思い、仕事として介護職を選びました。入職当初、介護度の高い方が多いフロアを担当することになりました。覚えることも多く、無我夢中で、先輩の背中を見て多くのことを学んでいたように思います。

思い込みが過介護につながっていた

半年ほど経った時に、介護度が低い方が多いフロアに異動となりました。一人で入居者さんのケアに当たることが増え、自信もついてきたころでした。ホームライフでは食事を2種類から選択できるのですが、これまでのように私が食事を選んでいると、ある入居者さんから「勝手に選ばないでほしい」と言われました。“してあげる”ことがいいと思っていた私にとって予想だにしない言葉でした。

その時に先輩から「入居者さんのできることを奪ってはいけない。先回りしてなんでも手助けをすることがいいケアではない」ということを教えてもらいました。これまでの学びが全てではなく、それぞれの個性を見極めてケアにあたることが大切だと気付くことができました。

今後の目標

フロアリーダーとして2年目の今年は、後輩を育てることに注力したいと思います。性格的に人に任せるより自分でしてしまうことが多いのですが、同じフロアの職員が気持ち良く仕事ができるよう個々の得意なことを見極め、チームとしていいケアが提供できるようにしていきたいです。

今が一番大変なとき！

人手不足で勤務時間が長くなった時や、ケアをしていた入居者さんが突然亡くなられた時などは、体力的にも精神的にもつらいと感じていました。そんな時私は、「今が一番大変なとき。あの時は大変だったな。あの入居者さん最期まで楽しく過ごされていたな」と話せる日がくると思うことで気持ちを切り替えていました。先輩の存在も大きく、いつも声を掛けてくれたり相談にのってくれたりと心の支えになっていました。

1年目の皆さんへ Message

無理せず、楽しく

入職して数カ月が経ち、一人でできる仕事も増えてきたころだと思いますが、「新人」という立場を上手に利用して、疑問を残さないよう何でも先輩に聞いて解決することが大切です。そして何よりも自分の体を第一に、無理せず、楽しく仕事に取り組んでください。

洛和ホームライフ御所北
係長 濵田（はまだ） 大輝（だいき）

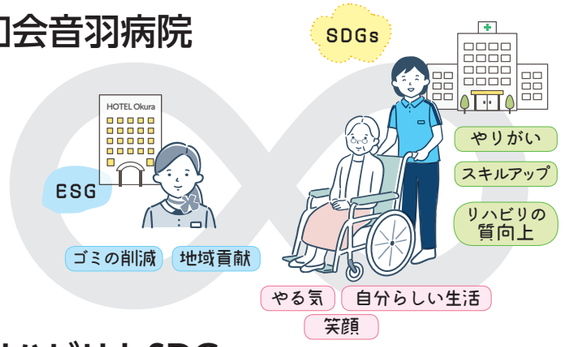
2014年 当会に入職し、洛和ホームライフ御所北に配属
2021年からフロアリーダーを任される

もったいないから生まれた

生きがい・働きがい

ホテルオークラ京都 ∞ 洛和会音羽病院

同じ“京都”で事業を展開する「ホテルオークラ京都」と「洛和会音羽病院」。2つの企業がタッグを組んで展開している環境課題解決への取り組みが、多角的な効果をもたらしています。



櫛・ブラシを活用したリハビリとSDGs

今まではホテルで廃棄されていた使用済みの櫛やブラシをご提供いただき、院内で洗浄・消毒したうえで、リハビリテーション部の作業療法士が入院患者さんの整容動作訓練※で使用。リユースによる**ゴミの削減だけでなく、患者さんや職員の気持ちに大きな変化**が生まれています。

※整容動作訓練…自助具や福祉機器を活用しながら、歯磨きや洗顔など整容動作の向上を目指す訓練。

患者さんの変化

— 患者さんの活力が向上！

「何もしたくない」と言っていた患者さんが、自発的にブラシで髪を整えるようになり「ずっと寝てたらあかんな」とリハビリテーション（以下、リハビリ）に取り組むように。

— リハビリ拒否に変化が

ベッドの上から動けず、介助で体に触れると「痛い」とリハビリを受け入れなかった患者さんに鏡と櫛をお渡し。調子の良い日には、自身で髪をとかれる姿が見られるようになりました。痛みの訴えなく物を持てるのはめずらしく、うれしい驚き！

職員の声

- 皆さんとても喜んでくださり、キラキラの笑顔でリハビリを受けてくださいます。（作業療法士）
- 使用後はプレゼントします、とお伝えすると「退院しても家で使うわ！リハビリ頑張らなあかんな」と言ってもらえました。（作業療法士）
- お風呂介助のときに利用させてもらっています。きれいになると、患者さんも私たちもうれしくなります。（認知症治療病棟 看護師）

洛和会音羽病院
リハビリテーション部
課長 篠田（しのだ） 昭（あきら） 作業療法士

今回の企画は**“使えるものが増えると訓練内容が変わる”**がテーマです。作業療法士に“引き出し”が増え、それが目に見えて患者さんの順調なリハビリに表れています。

長い時間ベッドの上で過ごす入院患者さんの中には、枕にこすれて髪が絡まり、ほどけなくなる方も。**“自分らしい”生活を送るためにも、生活習慣を整えることはとても大切**です。当院は感染対策が厳しく、近年はリハビリで櫛は使用していませんでしたが、消毒方法などについて感染防止対策室に確認し、当院の感染対策基準に準じて使用可能に。当会の他病院や介護事業部の参画も進んでいます。**誰もが笑顔になれるこの取り組み**がさらに広がっていくよう、これからも励んでまいります。

ホテルオークラ京都の職員の皆さまにもお話を伺いました

社内に委員会を組織し、ESG※にかかる取り組みも積極的に活動されているホテルオークラ京都。細かいゴミの分別はもちろん、生ゴミ処理機を導入しているほか、4月からはわら素材を約30%含み、プラスチックの使用量を削減したブラシを導入するなど、非常に環境への配慮をされています。

このたび、「廃棄していたアメニティが有効活用されるのであれば、目指している方向性と合致する」と洛和会音羽病院からの提案にご快諾いただきました。

※ESG…持続可能な世界の実現のために、企業の長期的成長に重要な環境（E: Environment）、社会（S: Social）、ガバナンス（G: Governance）の3つの観点。

想像していた以上の効果で、リハビリの訓練だけでなく患者さまにとって何かのきっかけになっていることが今回の“気付き”です。きっと、世の中にこういったきっかけがたくさんあると感じています。ホテルと医療に限らず、新しいマッチングが生まれる先駆けになればと期待しています。

総務部 庶務課
課長 橋本（はしもと） 容子（ようこ）さま

お引き渡し後の経過報告で、これまで廃棄していたものがたくさんの笑顔を生んだとお聞きし、本当にうれしく思います。回収作業などで別段業務が複雑になったわけでもなく、一石二鳥、三鳥の企画だと思います。

宿泊部 客室サービス課
課長代理 目黒（めぐろ） 奈津子（なつこ）さま

「ホテル」と病院の「ホスピタル」は同じ「ホスピタリティ」が語源となっているそうです。業種は異なりますが、お客さまや患者さまを思う取り組みとして、これからも視点を変え、発展していきたいです。とても勉強になりました。

宿泊部 接遇課
課長代理
松尾（まつお） 領子（りょうこ）さま

ホテルオークラ京都
〒604-8558
京都市中京区河原町御池
地下鉄東西線「京都市役所前駅」3番出口
（ホテル地下2階と直結）
TEL 075（211）5111（代）

お問い合わせ

洛和会音羽病院
リハビリテーション部
TEL 075（593）4217

らくわプラス

まちのお医者さん

洛和会ヘルスケアシステムと
連携されている
“地域のお医者さん”をご紹介します。

今回ご紹介

安田花園クリニック

院長　安田（やすだ） 冬彦（ふゆひこ） 先生

訪問診療

“断らない在宅”に挑みます

24時間365日体制で訪問

今年4月に右京区で開院しました。病院では胸部外科・心臓血管外科医として約10年間、その後は救急の専門医として約20年間勤めていました。開院して間もないですが、病院での経験を生かして、在宅で暮らす末期がんや心不全などの患者さんの訪問診療、看取りを行ってまいります。また、救急では新型コロナウイルス感染症が疑われる患者さんの対応をしていたので、当院でも診療を行っています。

交通の便が悪いところでも伺います

右京区を中心に20分圏内が訪問範囲ですが、高雄や原谷といった医療機関の受診に少し時間がかかる場所へも伺います。在宅医療では、まず患者さんの意思を確認し、その人の食習慣や趣味、築いてきた暮らしをできるだけ聞き取りして、治療に何を求めているのかを共有し、全体の方針を決めていきます。患者さんの人生に少しでもお役に立てるようにと考え、生涯在宅医療を全うする覚悟で臨んでいます。対象の患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

少し離れたところにも車で往診いたします。

当院の特長

- 新型コロナウイルス感染症の治療も行っています。
- 往診・看取りにも対応しています。
- 24時間365日連絡がとれる体制です。
- 経験豊かな医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、薬剤師が対応します。
- 院長は2021年8月まで洛和会音羽病院 救命救急センター・京都ERの所長を務めていました。

〒616-8013
京都市右京区谷口唐田ノ内町18-4
TEL 075（463）2900

診療時間

	月	火	水	木	金	土
外来 8:30～9:30	●	●	—	●	●	●
往診 9:30～12:30	●	●	—	●	●	●
往診 13:30～18:30	●	●	—	●	●	—

休診日：水曜日、日・祝日

［アクセス］
京福電鉄 北野線
「龍安寺駅」から徒歩4分

Face to Face

開業医の先生と病院をつなぎます！

洛和会丸太町病院 医療介護サービスセンター 地域連携課

蜷川（にながわ） 実紗（みさ）

モットー［小さなことに幸せを感じられる心を持ち続ける］

出身地：京都市
特技（実績など）：書道（師範）、顔と名前を覚えるのが早い
あなたの青春の思い出を教えてください：
ソフトテニスに打ち込んだ中学高校時代です。
チームメートとは今でもよく連絡をとりあっています。

4月に入職しました。他院にて医療事務を2年半、地域連携業務5年半の経験があります。丁寧かつ迅速に、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

洛和会東寺南病院　医療介護サービスセンター

主席課長 杵谷（きねたに） 和宏（かずひろ）

モットー［やる気・根気・元気］

出身地：大阪
趣　味：ウォーキング
目　標：妻・子どもにとって良い夫・父親になること

紹介元の先生方と顔の見える関係を作っていきたいと考えています。紹介から退院までご希望に沿えるよう対応してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

まちのお店紹介

今回ご紹介

Cafe & Bar MOCHI MOCHI

上京区

今回訪問したのは2021年9月にオープンしたばかりのCafe & Bar MOCHI MOCHI さん。かわいいネコのおもちくんが出迎えてくれる、性別・年齢問わず楽しめる、おしゃれなカフェです。

店長 廣畑（ひろはた） 真紀子（まきこ）さん

おもちくん

イチ押しは手ごねデミグラスハンバーグ

スタッフが一つ一つ丁寧に手ごねで作るデミグラスハンバーグはなんと180グラム。いっぱい食べてほしいという思いが込められているとか。これはおもちくん？なカワイイ「チョコバナナにゃんこパンケーキ」は特製の金型で成形され、甘くて幸せMAX！ 左京区の洋菓子店「MOGU kyoto」さんから届く日替わりケーキも人気。

デミグラスハンバーグ
1,000円（税込）

チョコバナナにゃんこパンケーキ
850円（税込）

夜はムーディーなバーに変身

午後6時をまわると、キャンドルの火が揺らめく大人の空間に早変わり。ゆっくりとお酒を楽しめるバーになります。夜でも食事メニューをオーダーできることもあるそうなので要Check。（また逆に昼でもお酒を出してくれるとのこと）

お客さんの満足が一番

店長の廣畑さんから「人とのつながりを大切に、お客さんには満足して帰っていただきたい」とお店をするうえでのモットーをお話いただきました。

Shop information

〒602-8157
京都市上京区小山町880
TEL 050（3695）5625

［営業時間］ 11:00～24:00
［定 休 日］ 水曜日
［アクセス］ JR・地下鉄「二条駅」から徒歩15分
※地図は16ページをご参照ください。

Uber Eatsや出前館などにも対応

まちの歴史 ～京の歴史が今につながる～

朱雀大路

Cafe & Bar MOCHI MOCHIさんのある千本通。堀川通や五条通に比べると主要道路とはいえません。しかし、千本通は約1,200年前、平安時代には84メートルの幅を誇り、都の南北を貫く巨大な朱雀大路でした。まさしく京都の「ザ・道」であったのです。そんな朱雀大路が始まる北側が朱雀門で、南側が羅城門。現在ではそれぞれの遺構近くに洛和会丸太町病院、洛和会東寺南病院という、緊密に連携する2つの当会の病院があるのは不思議なご縁です。

保育部門

サツマイモで地域とのつながりを

洛和若草保育園では毎年、食育活動の一環としてサツマイモの苗植えを実施しています。

大きくなぁれ

当園の隣にある洛和会音羽病院には子どもたちが遊べる小さな公園「わかくさなかよしひろば」があり、晴れた日には遊びに出掛けるスポットの一つになっています。その公園の一角に肥料の入った土袋を置き、子どもたちがサツマイモの苗を植え、「大きくなぁれ」と願いを込めて水やりをしました。

子どもたちの小さな手でそっと苗を植えました

洛和若草保育園
副係長
大槻（おおつき） 香奈恵（かなえ）

コミュニケーションのきっかけに

苗を植えている時や、発育状況を見ている時には、公園の横を通る地域の方や、病院に入院されている患者さんから声を掛けてもらうこともあり、コミュニケーションのきっかけになっています。患者さんにとって、かわいい子どもたちの姿が癒やしとなっていると感じています。

洛和若草保育園
〒607-8061
京都市山科区音羽草田町58-1
TEL 075(593)7759

救急10周年記念講演

寺澤名誉教授が語る「ER」

6月10日、洛和会音羽病院で国立大学法人 福井大学医学部 地域医療推進講座 名誉教授 寺澤秀一 先生が「ER診療から学んだこと」と題して講演されました。今年は同院が救命救急センターに指定されて10周年。そのメモリアルイヤーに救急医療の第一人者である寺澤先生をお招きしての記念講演でした。

内容はERでのご経験を元にした指導の仕方について、救急医のアンガーマネジメントや次世代育成、他の診療科への対診で必要なマナー、さらには指導する側のパーソナリティを見抜く力、謝罪の仕方など、すぐにでも使える実践スキルや考え方を軽快に話されました。

本講演会は、当会のWebマガジン「らくわプラス」でオンライン配信しています。ぜひご覧ください。

らくわプラス

洛和会音羽病院
救命救急センター・
京都ER10周年特設ページ

NEWS & TOPICS

山科周辺の医療機関と連携交流会を開催

7月2日、京都山科 ホテル山楽で「山科医師会・洛和会音羽病院・洛和会音羽記念病院・洛和会音羽リハビリテーション病院　病診・病病連携交流会」が開催され、地域の開業医さんと当会の医師など合わせて95人が参加しました。

基調講演では京都大学医学部附属病院 産婦人科 池田裕美枝先生が「内診台がなくてもできる女性診療」と題して、女性ホルモンについての説明や、月経痛への対処法、HPVワクチンの有効性などを分かりやすく講演されました。

日ごろ婦人科診療になじみの少ない医師が活発に質問されたり、意見を述べられたりするなど、盛況でした。

今後も当会3病院は地域医療を守るべく、医療機関と連携を深めてまいります。

詳細はこちら

東京事業所と鳳凰会グループが再就職応援協定を締結

介護人材の確保は全国的に厳しい状況が続いています。そんな中、残念ながら介護や結婚で転居せざるを得なくなり、退職する職員もいます。

当会の東京事業所と埼玉県など関東圏で多くの介護施設・医療機関を運営する鳳凰会グループは「再就職応援協定」を締結し、相互に退職した職員が再就職した場合に50万円の一時金を支給することとしました。法人間でこうした協定が締結されるのは全国で初めてのことです。

6月3日に洛和会ヘルスケアシステム 理事長 矢野裕典（写真左）と鳳凰会グループ 林義智 名誉会長の間で締結式が行われ、今後は人材の確保はもちろん、潜在的に転居リスクを抱えている職員の採用にもつながることが期待されます。

詳細はこちら

祇園祭で介護サービス事業所を無料開放しました。

今年は山鉾巡行と神輿度御が3年ぶりに執り行われた祇園祭。宵々山（7/15）と宵山（7/16）の2日間、洛和デイセンター四条鉾町が「らくわ子どもステーション2022」として、授乳やおむつ交換ができる無料の休憩所になりました。当会の子ども未来事業部の職員が中心となり、熱中症対策にドリンクやお菓子も配布し、訪れた人たちは休憩所としてだけでなく、世代を超え文化の交流の場として祇園祭を楽しみました。

詳細はこちら

第19回 洛和メディカルフェスティバル 開催決定！

去年はオンラインでの開催だった洛和メディカルフェスティバル、今年は３年ぶりに実地開催いたします！**今年のテーマは「With」**です。この言葉には地域の皆さんと一緒に、共に楽しめるフェスティバルにしたいという思いが込められています。当会の各会場にてさまざまなイベントや出店を予定しており、次号にて詳細をお伝えいたします。お楽しみに！

開催期間　2022年10月22日㊏～10月30日㊐　会場　当会各施設

※10月23日㊐、京都市勧業館 みやこめっせにて第32回ヘルスケア学会を開催いたします。

洛和会へのお客さま

5月～7月

- **5月6日**
  日清医療食品株式会社さま（京都市中京区）
  洛和ホームライフ御所北を見学
- **5月27日**
  社会医療法人真泉会 松山まどんな病院さま（愛媛県）
  洛和会音羽病院を見学
- **6月29日**
  株式会社 島津製作所さま（京都市中京区）
  洛和会丸太町病院を見学

患者さんの心のよりどころに
音羽の森
夢殿

洛和会音羽病院のC棟北側に、「音羽の森 夢殿」があります。

堂内には薬師如来像、両界曼荼羅、薬師三尊図の5点の仏画が安置されています。

絵馬 1枚100円

らくわ

洛和会会報誌 らくわ　vol.136

発行／洛和会ヘルスケアシステム
http://www.rakuwa.or.jp/

表紙写真／
洛和ヴィラよつば
兼 淀みづクリニック 院長 髙橋 滋

洛和ヴィラよつば
次長 田中 香代子

洛和ヴィラよつば
主席課長（経営管理長） 原 康浩

発行日／2022年8月1日
編集／洛和会企画広報部門
編集責任者／小林 拓磨
印刷／佐川印刷株式会社
題字／矢野 満子